

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡産業大学
設置者名	学校法人新静岡学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全教員に対し、資料『シラバス原稿の作成について(依頼)』を配付し、シラバス作成の指針を示している。資料の内容の概要は以下の通り。</p>	
<p>I. 本学の教育とシラバス</p>	
<p>II. 編集スケジュール</p>	
1月18日	シラバス原稿の作成依頼
1月23日～2月17日	シラバス原稿の作成
2月28日～3月6日	シラバス原稿の確認・修正
3月16日	webへのアップ
<p>III. 記載要項</p>	
<p>(1) 授業の概要 (2) 授業の到達目標 (3) 提出課題等 (4) 成績評価の方法・基準 (5) テキスト (6) 参考書 (7) 履修条件 (8) 事前学習 (9) 事後学習 (10) 履修上の留意点 (11) 情報機器の活用 (12) ディプロマポリシーの各領域と配点 (13) 学内向けテキスト販売発注票 (14) 授業内容とスケジュール</p>	
<p>IV. 参考資料</p>	
<p>(1) 静岡産業大学学則(抜粋) (2) 3つのポリシー (3) 文部科学省「設置計画履行状況等調査の結果等について(平成26・令和元年度)」抜粋</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.ssu.ac.jp/for-students/academic-information/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学習成果の評価に係る取組の概要) 以下の『単位認定の方針について』をHPで公表している。 https://www.ssu.ac.jp/for-students/academic-information/ 単位認定の方針</p>	
<p>静岡産業大学は、本学学則第21条(単位の認定)及び大学・各学部のディプロマポリシー(学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)に基づき、単位認定を行います。各授業科目において、担当教員は上記を踏まえて到達目標を設定、それをシラバスに明記するとともに、以下の評価方法、評価基準に基づき、学生の学修到達度を評価します。</p>	

(評価方法)

本学における試験は、試験規程に基づき、筆記試験、レポート試験、実技試験などとなります。各授業科目の担当教員は、学則第22条（学習の評価）に基づき、試験等を実施します。学修到達度を適切に評価するために、評価方法・基準をシラバスで学生にあらかじめ明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。

なお、教員のメールアドレスを公開し、学生から担当教員に対し、成績に関する照会ができるようにしています。

(評価基準)

本学における各授業科目の成績評価は、学則第22条に基づき、2020年度以前入学生はA、B、C、Dの四段階評価とし、C以上を合格とします。2021年度以降入学生は、S、A、B、C、Dの五段階評価とし、C以上を合格とします。評価基準を成績評価基準に関する申し合わせ事項に示します。各授業科目の担当教員は、学修到達度を適切に評価するために、評価方法・基準をシラバスで学生にあらかじめ明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。

表 成績評価基準（2020年度以前入学生）

判定	成績通知表の表示	基準	記号	成績証明書 の表示
合格	A	80～100点	優れた成果を示した。	A
	B	70～79点	平均的な成果を示した。	B
	C	60～69点	合格に必要な最低の成果を示した。	C
不合格	D	59点以下	合格に必要な水準に及ばなかった。（履修放棄を含む）	表示しない
認定	認定	認定の確認	資格など定められた設定基準を満たした。	認

表 成績評価基準（2021年度以降入学生）

判定	成績通知表の表示	基準	記号	成績証明書 の表示
合格	S	90～100点	特に優れた成績を示した。	S
	A	80～89点	優れた成果を示した。	A
	B	70～79点	平均的な成果を示した。	B
	C	60～69点	合格に必要な最低の成果を示した。	C
不合格	D	59点以下	合格に必要な水準に及ばなかった。（履修放棄を含む）	表示しない
認定	認定	認定の確認	資格など定められた設定基準を満たした。	認

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学は以下の算式を『履修ガイド』内にあらかじめ提示し、各学生の履修科目の成績に基づき GPA を算出している。また、学生には、この数値が極端に低くならないように注意喚起をしている。</p> <p>【2020 年度以前入学生】 以下の〔分子〕÷以下の〔分母〕 〔分子〕 A の単位数×3 点+B の単位数×2 点+C の単位数×1 点 〔分母〕 総履修単位数(「D」「未」を含む。「認」「履」を含まない。) (注意) 分子、分母とも、卒業要件内の単位を対象とする。D の科目を再履修した場合、再履修後の履修・評価のみを算式に適用する。成績評価において、履修放棄はDである。</p> <p>【2021 年度以降入学生】 以下の〔分子〕÷以下の〔分母〕 〔分子〕 Sの単位数×4 点+A の単位数×3 点+B の単位数×2 点+C の単位数×1 点 〔分母〕 総履修単位数(「D」「未」を含む。「認」「履」を含まない。) (注意) 分子、分母とも、卒業要件内の単位を対象とする。D の科目を再履修した場合、再履修後の履修・評価のみを算式に適用する。成績評価において、履修放棄はDである。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.ssu.ac.jp/campus-life/risyu2023_20/HTML5/pc.html#/page/14</p> <p>https://www.ssu.ac.jp/campus-life/risyu2023_23/HTML5/pc.html#/page/16</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 以下のディプロマポリシーを定め、HP にアップし公表している。 また、学生には、資料『履修ガイド』内に表記し、周知している。 3月・9月の教授会にて卒業判定を行い、学則第28条・第29条が定める卒業要件及びディプロマポリシーに基づき、4年生の卒業の可否を審議している。</p> <p>【経営学部】 知識・理解【基礎理論の理解、教養の修得】 ・各学科が提供する基幹科目の基礎理論を理解している。 ・人文科学、社会科学、自然科学などに関する教養を身につけている。 思考・判断・表現【課題の発見と考察、プレゼンテーション】 ・現代社会における、経営に係る諸課題、個人や組織の心理に係る諸課題、子どもの情操に関する諸課題を、種々のデータに基づき発見できる。 ・現代社会における、経営に係る諸課題、個人や組織の心理に係る諸課題、子どもの情操に関する諸課題を、基礎理論に基づき考察できる。 ・発見・考察した内容を、口頭または文章などでの的確に表現できる。 関心・意欲・態度【当該分野への関心、主体的取り組み、他者との協働】 ・経営、個人や組織の心理、子どもの情操などの状況や動向に関心を持っている。 ・主体性を持ち、新たな課題に取り組むことができる。 ・人間や社会の多様性を認め、様々な人材・組織などと協働できる。 技能【情報リテラシー、コミュニケーション】 ・必要なデータを収集し、それらを的確に整理・分析できる。 ・他者を尊重したコミュニケーションをとることができる。</p> <p>【スポーツ科学部】 1. スポーツ科学の基礎的な理論、スポーツの意義や課題について総合的視点から理解し、主体性、積極性、協調性を持ち、多様性を認め、スポーツを通じて他者と協働するために必要な能力を有している。 2. スポーツ科学を活用し、ライフステージに合わせたスポーツ実践や健康づくり、地域振興に活用できるプログラムを企画・指導し、適切なトレーニングを処方・指導できる知識・技能を有している。 3. スポーツ科学の理論に基づいて、学校、地域等でスポーツを実践し、企画・指導する能力を有している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.ssu.ac.jp/faculty/management/policy/ https://www.ssu.ac.jp/faculty/sports/policy/